

気をつけて!

石油ストーブの燃焼に悪影響を与えます。

不良灯油(変質灯油・不純灯油)を 使用しないで!

故障の原因
になります。

変質・不純灯油の判断方法(しんの状態から)



しんの編み込み部(横糸の縫い目より下方)を、
先の尖ったもので押して確認します。



変質・不純灯油を使用した器具は、編み込み部に
タールが付着して硬くなっています。

使用前のしん



※コロナ純正しんをご使用ください。

正常燃焼した場合のしん



しん先端は茶色く変色しているが、編み込
み部にタールの付着は見られない。

不良灯油を使った場合のしん



しんの先端は硬く手で触るとボロボロと崩れる。
また、編み込み部にタールが付着している。

- 先の尖ったもので「しんの編み込み部」を押して確認します。この部分が硬くなっていると、「変質灯油を使用した」と判断出来ます。
灯油の変質度合いによっては、しんの先端まで硬くなる場合があります。
- 灯油が変質していると、編み込み部にタールが付着します。タールの付着が多くなると灯油の吸い上げが妨げられ、上記の症状が現れます。
- 灯油に水が混入した場合も灯油の吸い上げが悪くなり、上記の症状が現れることがあります。

ご注意
ください!

変質・不純灯油による故障の場合

修理は保証期間内でも**有料**になります。

変質・不純灯油を使用した場合、次のような症状が現れます。

- 燃焼筒の赤熱が悪くなったり、火が消えたりする。
- しんを上下する操作が重くなる。
- 点火の時、火がつきにくい。あるいは、火がつかない。
- 消火動作をしてもなかなか火が消えない。
- 正常に燃焼せず、臭いがきつく目にしめたりする。



気をつけて!

灯油が変質する原因とは?

「灯油は生もの」です。

そのため、次のような状態で灯油を保管すると、
灯油が変質することがあります。

- 昨シーズンからの持ち越し灯油の保管。
- 日光の当たる場所や高温の場所での保管。
- 容器のフタを開けたままの長期間の保管。
- 購入直後の灯油であっても、変質灯油が残っている容器での保管。

トラブルの原因
になります。

灯油の保管方法



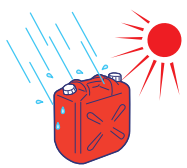
良い保管

直射日光が当たらず、
雨水がかからない、
火気のない冷暗所に保管。



悪い保管

昨シーズンからの持ち越し灯油。
直射日光や、雨水がかかる
ベランダなどでの保管。



- 灯油の保管には、灯油用として推奨マーク付（日本ポリエチレンブロー）が市販されていますので、そちらをお選びください。

※灯油の変質は、「酸素」と「光」で促進されます。従って、灯油を変質させないためには、これらを遮断する必要があります。灯油は、冷暗所で密閉容器（灯油保管用）に入れて保管する必要があります。



水用



※乳白色のポリタンクは水用です。

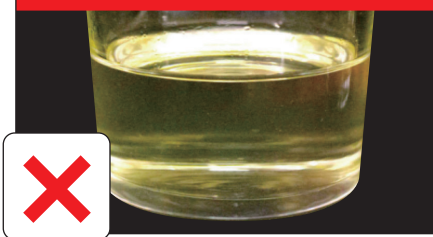
不良灯油の見分け方

正常灯油



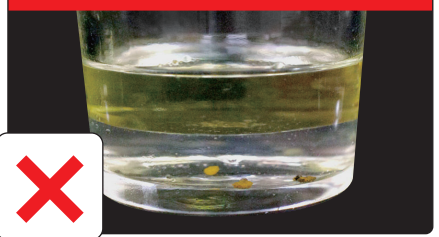
- 透明であること。
 - 不純物の混入がない。
 - 灯油のニオイがする。
- ※保管状態によっては、色がついていなくても変質灯油になっている場合があります。

変質灯油



- 昨シーズンから持ち越した灯油。（特に乳白色のポリタンクに入れられていた灯油）
- 日光が当たる場所、高温の場所で保管した灯油。
- フタを開けたまま保管した灯油。
- うす黄色をおびた、すっぱいニオイのする灯油。

不純灯油



- ガソリン、天ぷら油、機械油などの混じった灯油。
- 灯油以外の油を入れたことのある容器に保管された灯油。
- 水やゴミが混じった灯油。
- 水抜剤や助燃剤を添加した灯油。

不良灯油を使用すると、石油ストーブが使用できなくなる恐れがあります。
くれぐれも不良灯油のご使用は避けてください。